

神奈川県育成 ナシ品種 「香麗」について

‘香麗’は平成 10 年（1998 年）に農業技術センターで‘あけみず’に、‘筑水’を交配した実生から選抜しました。平成 17 年に初結実し、平成 18 年に‘幸水’より 2 週間程度早く収穫され、大玉で果実品質も優れていると認められたので、有望系統と判断しました。平成 24 年（2012 年）10 月 23 日付けで種苗法に基づき品種登録されました（登録番号第 22053 号）。

特性

樹・花の特性

樹勢は中程度で、ほう芽始期は育成地（平塚市）で 3 月 30 日頃です。満開期は 4 月 12 日頃で‘豊水’とほぼ同時期です。幼葉の色は花粉親の‘筑水’と同じ黄緑色で、‘幸水’‘豊水’の褐色とは明らかに異なります。つぼみの色も‘筑水’と同様に白である点も特徴です。腋花芽の着生は少ないため、短果枝を中心に着果させるようにします（第 1 表）。

第 1 表 ‘香麗’及び対照品種の生育特性（2007 から 2009 年の平均）

品種名	樹勢	満開日	収穫始め	収穫終り	短果枝着生	腋花芽着生
香麗	中	4/12	7/29	8/9	中	少
新水	強	4/10	7/30	8/12	多	少
幸水	中	4/14	8/12	8/31	少	中
あけみず	強	4/8	7/26	8/7	中	中
筑水	中	4/18	8/1	8/14	中	中

果実の特性

‘香麗’の収穫期は主要品種の‘幸水’よりも 2 週間程度早く、7 月下旬から 8 月上旬です（第 1 表）。

果実は円形で果皮色が黄褐色、3 年間の平均果重は 413 g で、極早生としては極めて大玉です。糖度は 12.6%で酸味はほとんど感じられません。果肉硬度は 3.8lbs で‘豊水’と同程度に柔らかく、わずかに香りを有する点が特徴です（第 2 表）。

第 2 表 ‘香麗’及び対照品種の果実特性（2007 から 2009 年の平均）

品種名	果形	果皮色	果実重 (g)	糖度 (Brix%)	酸度 (pH)	硬度 (lbs)
香麗	円	黄褐	413	12.6	5.3	3.8
新水	偏円	黄赤褐	259	14.0	4.7	4.9
幸水	円	黄赤褐	437	12.6	5.3	4.6
あけみず	円	黄赤褐	351	13.2	4.9	5.3
筑水	偏円	黄褐	325	13.6	5.1	3.9

栽培管理

‘香麗’の種子親である‘あけみず’は果実表面色から収穫適期の判断が難しいという欠点がありました。‘香麗’は収穫適期判断が容易で、完熟果の果皮は黄色みを帯びます。軸折れの発生が認められるため、摘果の際は上向きの果台の果実や果梗が上向きの果実は摘果します。黒星病やその他の病害虫の発生は少なく、慣行の防除で十分対応できます。

授粉樹について

二ホンナシでは結実確保のために人工授粉が必要となりますが、受精に関わる S 遺伝子型が同じ品種の花粉では結実しません。

神奈川県農業技術センター(2013.9.11)の試験研究成果報告によると、‘香麗’において、既存品種との交雑和合性検定を実施した結果、受精に関わる S 遺伝子型は S_3S_4 であることが確認されました。

同じ S_3S_4 の既存品種としては‘筑水’‘秋麗’‘なつしずく’‘あきづき’などが該当し、結実確保のためには S 遺伝子型の異なる他の品種の花粉で人工授粉する必要がありますので、ご注意ください。

【問い合わせ先】

(一社)神奈川県園芸協会